

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書の訂正報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2025年11月7日
【会社名】	株式会社 v i s u m o
【英訳名】	visumo Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 井上 純
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区神宮前六丁目10番11号原宿ソフィアビル4階
【電話番号】	03-6822-4888（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 兼 執行役員 見城 壮彦
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区神宮前六丁目10番11号原宿ソフィアビル4階
【電話番号】	03-6822-4888（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 兼 執行役員 見城 壮彦
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 1【臨時報告書の訂正報告書の提出理由】

2025年10月16日に提出いたしました臨時報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため臨時報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2【訂正事項】

### 2 報告内容

#### (4) 本吸収合併に係る割当ての内容の算定根拠

## 3【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_を付して表示しております。

(訂正前)

#### (4) 本吸収合併に係る割当ての内容の算定根拠

(前略)

v i s u m o の利益計画においては、大幅な増益を見込んでいる計画年度が含まれています。具体的には、計画第2期(2026年3月期)から第5期(2031年3月期)について、売上高、売上原価(ソフトウェア償却費を除く。)及びソフトウェア投資額が前年比10%増にて推移するとしつつ販売費及び一般管理費が増加しないモデルを前提としたことを理由として、営業利益及びフリー・キャッシュ・フローが、当該各計画期においていずれも前年比30%超の増額となることを見込んでおります。

R e v i C o の利益計画においては、大幅な増益を見込んでいる計画年度が含まれています。具体的には、売上高、売上原価(ソフトウェア償却費を除く。)及びソフトウェア投資額が前年比10%増にて推移するとしつつ販売費及び一般管理費が増加しないモデルを前提としたことを理由として、計画第2期(2026年3月期)から第5期(2031年3月期)における営業利益、また、計画第2期(2026年3月期)から第6期(2032年3月期)におけるフリー・キャッシュ・フローが、当該各計画期においていずれも前年比30%超の増額となることを見込んでおります。

(訂正後)

#### (4) 本吸収合併に係る割当ての内容の算定根拠

(前略)

v i s u m o の利益計画においては、大幅な増益を見込んでいる計画年度が含まれています。具体的には、計画第2期(2028年3月期)から第5期(2031年3月期)について、売上高、売上原価(ソフトウェア償却費を除く。)及びソフトウェア投資額が前年比10%増にて推移するとしつつ販売費及び一般管理費が増加しないモデルを前提としたことを理由として、営業利益及びフリー・キャッシュ・フローが、当該各計画期においていずれも前年比30%超の増額となることを見込んでおります。

R e v i C o の利益計画においては、大幅な増益を見込んでいる計画年度が含まれています。具体的には、売上高、売上原価(ソフトウェア償却費を除く。)及びソフトウェア投資額が前年比10%増にて推移するとしつつ販売費及び一般管理費が増加しないモデルを前提としたことを理由として、計画第2期(2028年3月期)から第5期(2031年3月期)における営業利益、また、計画第2期(2028年3月期)から第6期(2032年3月期)におけるフリー・キャッシュ・フローが、当該各計画期においていずれも前年比30%超の増額となることを見込んでおります。